



東証マザーズ(TSE Mothers):6264

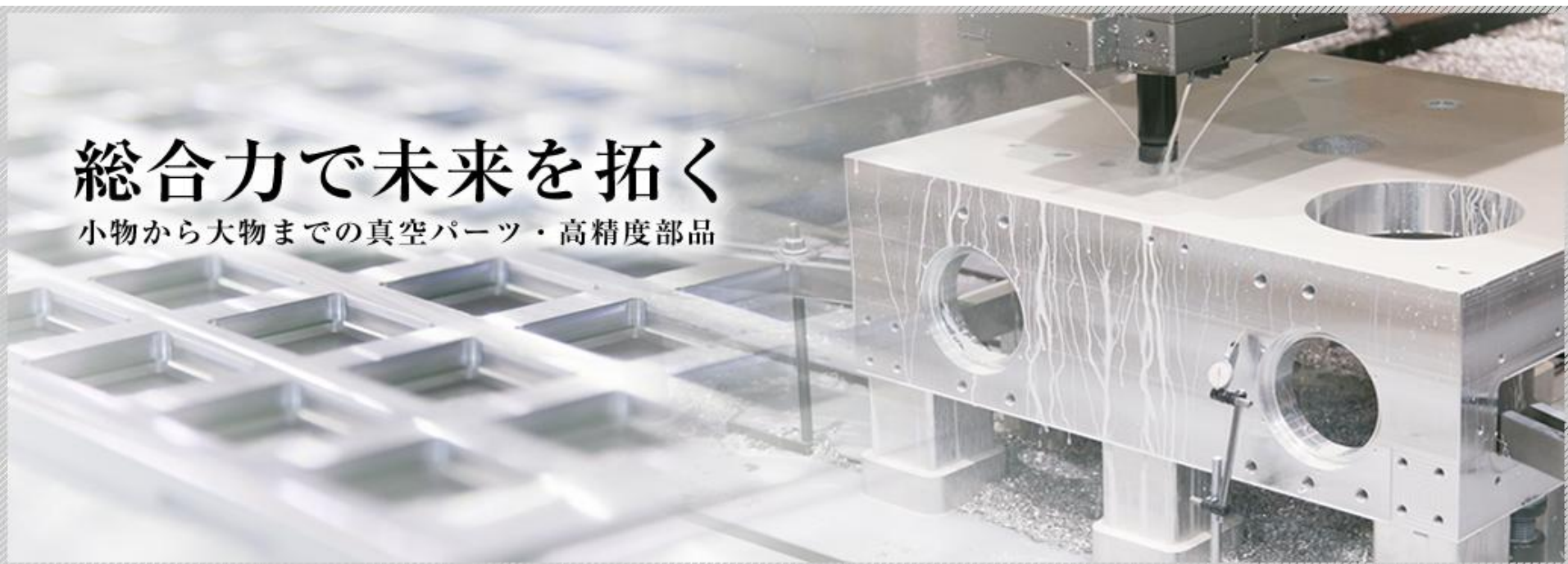
株式会社マルマエ

平成28年8月期第1四半期決算 補足資料

平成28年1月12日

総合力で未来を拓く

小物から大物までの真空パーツ・高精度部品



もくじ

平成28年8月期第1四半期決算

I -1.	決算概要	4P
・	PL分析	4P
・	四半期業績の推移	5P
・	B/S分析	6P
I -2.	平成28年8月期の業績予想	7P

中期事業計画の進捗

R&D	
鹿児島大学との共同研究	9P

企業情報

・ 事業概要	16P
・ 会社概要	17P
・ 会社沿革	18P



決算概要

平成28年8月期 第1四半期
(平成27年9月1日～平成27年11月30日)

PL分析

PL

	平成27年8月期 第1四半期累計期間		平成28年8月期 第1四半期累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
受注高	571	—	537	—	△6.0
受注残高	359	—	368	—	2.5
売上高	384	100.0	619	100.0	60.9
売上原価	287	74.6	400	64.7	39.6
売上総利益	97	25.4	218	35.3	123.6
販売管理費	56	14.7	63	10.2	11.7
営業利益	41	10.7	155	25.1	277.8
経常利益	42	11.0	148	23.9	248.2
特別損益	0	0.0	6	1.0	—
当期純利益	41	10.8	100	16.2	140.4
EPS (円)	7.95	—	19.04	—	140.4

Point

①受注状況

- 半導体分野：273百万円
(対前年同期：4.5%減)
- FPD分野：261百万円
(対前年同期：204.3%増)
- その他分野：2百万円
(対前年同期：98.7%減)

②売上高

- 対前年同期60.9%の増加
- ※分野別の詳細は次頁

③売上原価・売上総利益

- 材料費：19百万円増
(対前年同期：22.3%増)
- 労務費：34百万円増
(対前年同期：37.6%増)
- 外注加工費：2百万円減
(対前年同期：3.1%減)

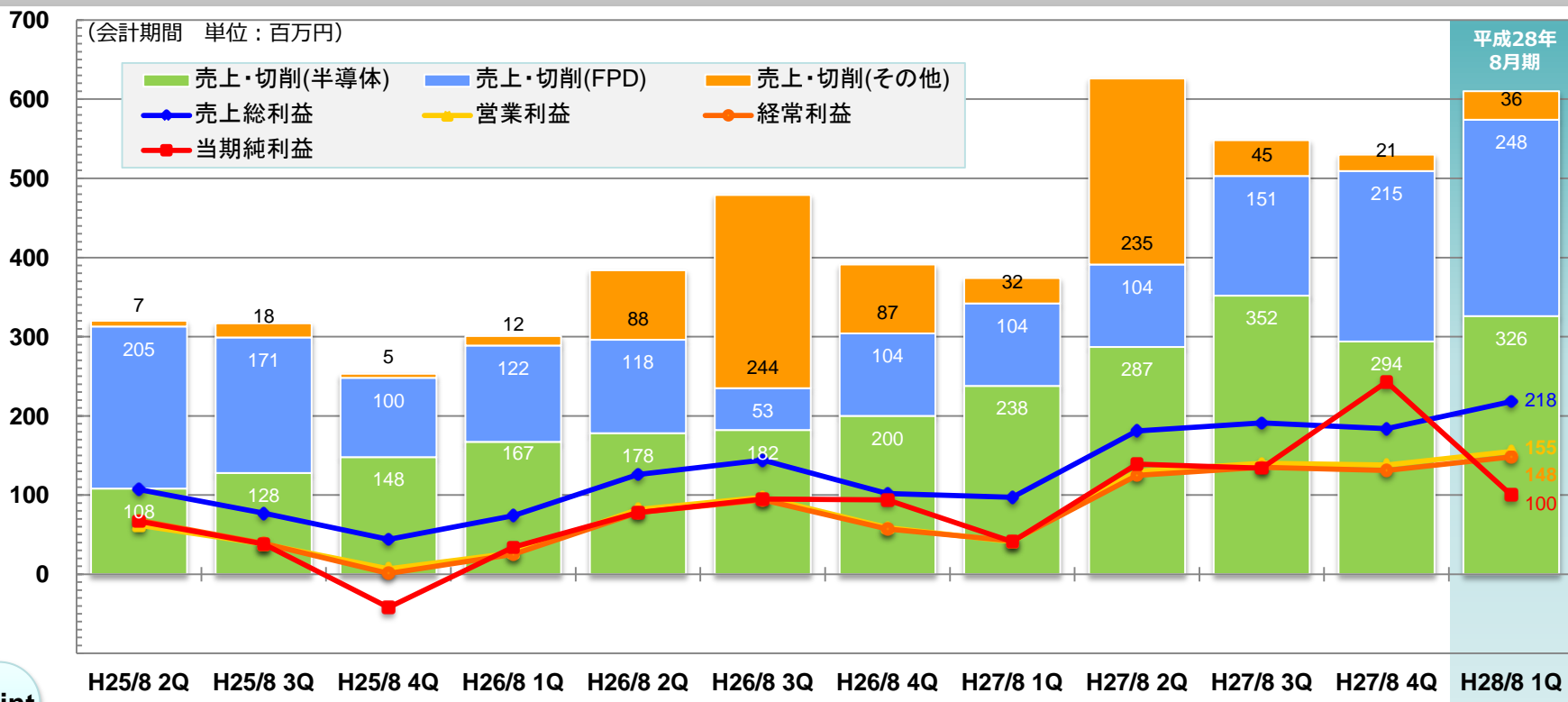
④営業利益

- 販管費は人件費等の増加

⑤営業外費用・特別利益

- 支払利息：2百万円の増加
- 固定資産売却益：6百万円

四半期業績の推移



Point

①売上高は、半導体分野がけん引（数値は累計期間）

- 半導体分野：326百万円（対前年同期：36.8%増）
 - ・一部に在庫調整の動きがみられたものの、携帯端末の需要を背景に堅調に推移
- FPD分野：248百万円（対前年同期：137.9%増）
 - ・設備投資が積極的に行われ好調に推移

- その他分野：36百万円（対前年同期：14.3%増）
 - ・おもだった動きはなかった

②損益面では売上高の増加と生産性向上で順調

- ・売上高増加と生産性向上により営業利益は前年同期を大きく上回る

※グラフは四半期毎の会計期間の数値ですが、ポイントのコメントは当期の累計期間の数値となっております。

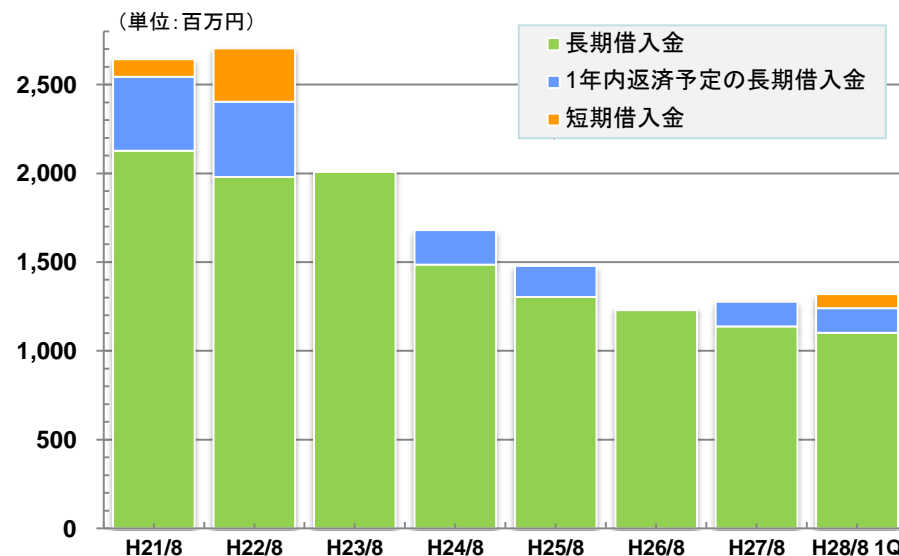
B/S分析

B/S

(単位：百万円)	平成27年8月期 会計年度末	平成28年8月期 第1四半期末
流動資産	1,234	1,191
現金及び預金	397	233
売上債権 (受取手形・売掛金電子記録債権)	574	725
たな卸資産	165	152
固定資産	954	1,156
建物・土地	605	647
機械及び装置	271	471
流動負債	333	489
有利子負債（短期）※	138	218
固定負債	1,140	1,106
長期借入金	1,137	1,102
負債合計	1,473	1,595
純資産合計	715	752
総資産	2,188	2,348

Point

- ① **資産：2,348百万円(前期末比:159百万円増加)**
 - 受取手形及び売掛金が51百万円増加
 - 電子記録債権が99百万円増加
 - 有形固定資産が227百万円増加
 - 現金及び預金が163百万円減少
- ② **負債：1,595百万円(前期末比:122百万円増加)**
 - 短期借入金が80百万円増加
 - その他流動負債が76百万円増加
 - 長期借入金が34百万円減少
- ③ **純資産：752百万円(前期末比:37百万円増加)**
 - 利益剰余金が37百万円増加
 - 自己資本比率：32.0%



※ 有利子負債（短期）：短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

I-2.平成28年8月期の業績予想

今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

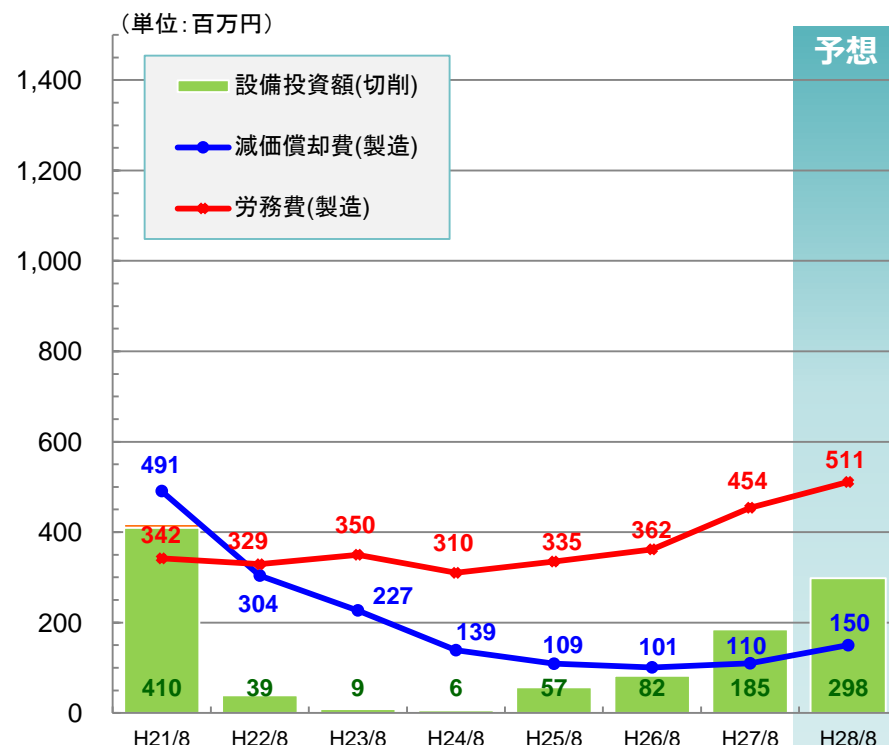
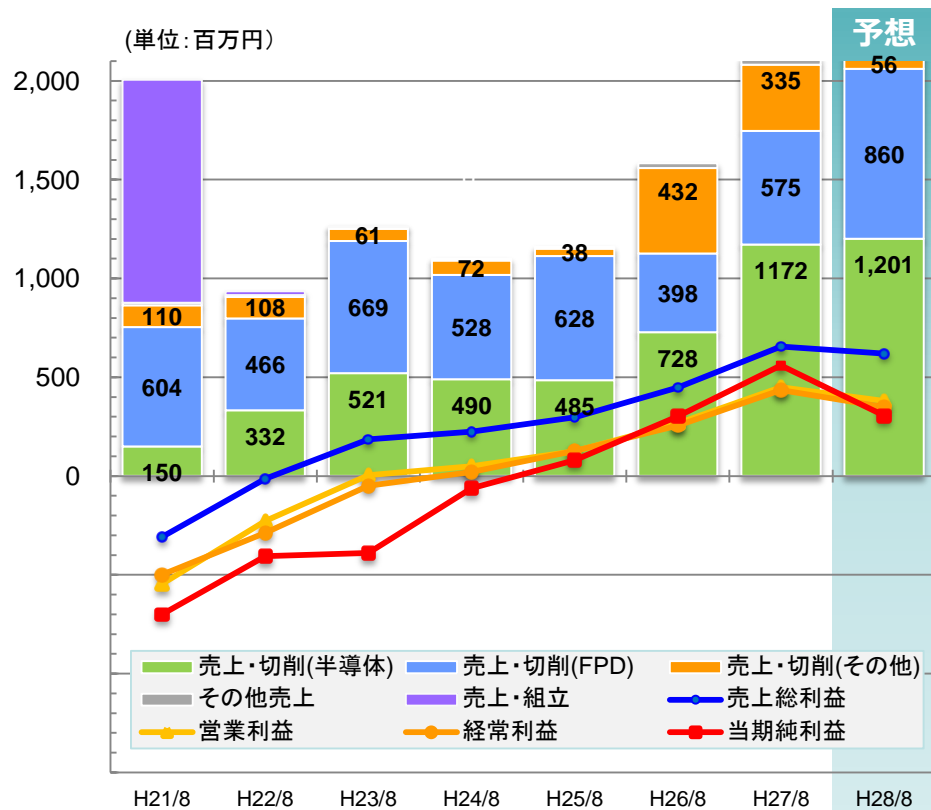
業績
予想

(単位：百万円、1株当たり当期純利益は円)

平成28年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
第2四半期(累計)	1,120	220	205	220	41.76
通期	2,130	380	350	305	57.90

Point

- 業績予想を修正しました(平成27年12月25日)
 - ・ 特にFPD分野で当初想定超の受注拡大
 - ・ 変動大きく、保守的な見通しは残す
 - ・ 損益面は、売上高増加が主因





Evolution 2018

中期事業計画進捗
平成28年8月期～平成30年8月期

R&D

鹿児島大学との共同研究

鹿児島大学※と共同研究に関する契約に調印

以下の分野で、鹿児島大学の従来の研究成果と今後の共同研究の成果を基に当社にて製品化および販売を行います。
今後の開発日程等は現在調整中であり、適時に発表します。

1. リハビリ装置の研究開発
2. 作業筋力補助ロボットの研究開発

※ 鹿児島大学大学院理工学研究科 余永研究室

R&D

リハビリ装置の研究開発



写真は、今後、当社と鹿児島大学で共同研究を進める装置の一例で、腕に対するリハビリ装置です。

R&D

作業筋力補助ロボットの研究開発



本装置は過去に鹿児島大学が研究開発した膝筋力補助ロボットです。



R&D

作業筋力補助ロボットの研究開発



写真は鹿児島大学が過去に研究開発した腰筋力補助装置の一例です。

今後、大腿筋力補助と合わせ、複合的な装置の開発を目指しています。

これらの共同研究は、単年度ごとの契約となっていますが、実際の研究開発期間は複数年におよぶ見通しです。

私達は新しい中期事業計画に取り組み、更に技術で社会貢献できる企業を目指します。

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関する責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先
株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863



Company Profile

企業情報

当社製品は世界中で半導体・液晶製造装置の心臓部を支えています

主要工程

- エッチング
- CVD
- コータ/デベロッパ
- スパッタ
- 枚葉洗浄
- アッシング
- ウエハーボンディング
- イオン注入
- アニール

主要製品

- 真空チャンバー
- シャワーヘッド
- 排気板
- 静電チャック
- ヒーター類
- 上部電極
- ターゲット
- 搬送系パーツ類
- 各種真空パーツ類

※画像はイメージです

進化する技術で未来を拓く

会社名	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd.)
設立	昭和63年10月
資本金	1億3585万円 (平成27年11月30日現在)
役員	代表取締役社長 前田 俊一 専務取締役 山元 弘 取締役(監査等委員) 兒島 吉二 取締役 海崎 功太 取締役(監査等委員) 寺畑 幸雄 取締役 藤山 敏久 取締役(監査等委員) 梶 智和
従業員数	122名 うち 臨時雇用者等48名 (平成27年11月30日現在)
所在地	本社 〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41 関東事業所 〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立 ・精密機械部品の設計および製作 ・溶接部品の設計製造 ・運送業務
経営理念	<p>1.技術は究極を目指し 2.競争と協調を尊び 3.技術注力企業として社会に貢献する</p> <p>経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。</p>

大株主 (普通株式)

前田 俊一	928,700株
株式会社マルマエ (自己株)	109,447株
前田 美佐子	84,000株
川本 嘉世子	41,200株
マルマエ共栄会	35,900株
日本証券金融株式会社	32,600株
前田 良子	30,000株
五十嵐 光栄	27,900株
川口 直信	26,100株
楽天証券株式会社	15,500株

敬称略 平成27年8月31日現在

※ 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、上記は当該株式分割前の株式数で記載しております。

進化する技術で未来を拓く

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務（元社長、元相談役）が個人で創業
昭和63年10月	マルマエ工業有限会社（現当社）設立（出資金2,000千円）
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D（現当社事業）を前田俊一（現代表取締役）が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限会社が引継いでR&D事業部を設置
平成13年4月	株式会社マルマエに商号および組織変更（資本金10,000千円）
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町（現出水市）に新本社工場竣工し本店移転
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定（証券コード6264）
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本県菊池郡大津町の熊本事業所が稼働開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年4月	埼玉県朝霞市の関東事業所が稼働開始
平成20年5月	熊本事業所組立工場竣工
平成20年9月	熊本事業所加工工場増設
平成23年4月	熊本事業所の閉鎖
平成23年7月	事業再生ADR手続の成立
平成27年1月	事業再生ADR手続による事業再生計画の終結

※注 個人事業部分については、月次の確定が困難なため月の記載を省略しております。